

設計内訳書 (本01)

工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
施設整備							
		式	1				
標識設置工							
		式	1				
避難所・避難場所標識設置							
		式	1				
標識板設置	900×1200						単 1号
		箇所	16				
標識柱・基礎設置	基礎+支柱（景観）						単 2号
		箇所	16				
避難場所標識設置							
		式	1				
標識板設置	1200×500						単 3号
		箇所	32				
標識柱・基礎設置	基礎+支柱（景観）						単 4号
		箇所	32				
津波注意警告標識設置							
		式	1				
標識板設置	△800及び▽700×350						単 5号
		箇所	13				
標識柱・基礎設置	基礎+支柱（景観）						単 6号
		箇所	13				
標識撤去工							
		式	1				
避難所表示標識撤去							
		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
標識板撤去							単 7号
		箇所	33				
標識柱・基礎撤去	複柱						単 8号
		箇所	28				
標識柱・基礎撤去	単柱						単 9号
		箇所	4				
構造物撤去工							
		式	1				
構造物取壊し							
		式	1				
舗装版切断	As舗装 t=5cm						単 10号
		m	164				
舗装版破碎	As舗装 t=5cm						単 11号
		m2	65				
殻運搬処理							
		式	1				
As殻運搬処理							単 12号
		m3	3				
Co殻運搬処理	無筋						単 13号
		m3	17				
鉄くず	スクラップ						内 1号
		式	1				
土工							
		式	1				
盛土材運搬							
		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
盛土材運搬		m3	2				単 14号
舗装工		式	1				
アスファルト舗装工		式	1				
表層	再生密粒度As(20F) t=5cm	m2	56				単 15号
路盤工	再生クラッシュラン(RC-40) t=25cm	m2	27				単 16号
不陸整正		m2	29				単 17号
コンクリート工		式	1				
コンクリート		式	1				
コンクリート打設	18-8-25	m3	0.04				単 18号
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員		人					単 19号
直接工事費		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

一式当り内訳書

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	鉄くず	スクラップ					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場発生品・支給品運搬	クレーン装置付2t積2t吊, 2.0km以下, 1.5t超2.0t以下	回	1				
スクラップ へびーH1		t	1.8				
合計							

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	標識板設置	900×1200	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)		有, 5基以上, 無, 無	基	1			単 20号	
合計								
単価							円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	標識柱・基礎設置	基礎+支柱 (景観)	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識柱・基礎設置(路側式)		複柱式(基礎含む)φ60.5, 5基以上, 無, 無, 無, 有, 下地亜鉛メッキ+静電粉体 塗装(景観)	基	1			単 21号	
合計								
単価							円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	標識板設置	1200×500	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)		有, 5基以上, 無, 無	基	1			単 22号	
合計								
単価							円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	標識柱・基礎設置	基礎+支柱 (景観)	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識柱・基礎設置(路側式)		単柱式(基礎含む)φ76.3, 5基以上, 無, 無, 無, 有, 下地亜鉛メッキ+静電粉体 塗装(景観)	基	1			単 23号	
合計								
単価							円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	標識板設置	△800及び700×350	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)		有, 5基以上, 無, 無	基	1			単 24号	
合計								
単価							円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	標識柱・基礎設置	基礎+支柱 (景観)	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
標識柱・基礎設置(路側式)		単柱式(基礎含む)φ76.3, 5基以上, 無, 無, 無, 有, 下地亜鉛メッキ+静電粉体 塗装(景観)	基	1			単 23号	
合計								
単価							円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	標識板撤去		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	標識板撤去 (警戒・規制・指示・路線番号標識)	5基以上, 無, 無	基	1				単 25号
	合計							
	単価							円/箇所

1 次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	標識柱・基礎撤去	複柱	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	標識柱・基礎撤去 (路側式)	複柱式(基礎含む), 5基以上, 無, 無	基	1				単 26号
	合計							
	単価							円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	標識柱・基礎撤去	単柱	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	標識柱・基礎撤去（路側式）	単柱式(基礎含む), 5基以上, 無, 無	基	1				単 27号
	合計							
	単価							円/箇所

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	舗装版切断	As舗装 t=5cm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版切断	アスファルト舗装版, 15cm以下	m	1				
	合計							
	単価							円/m

1 次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	舗装版破碎	As舗装 t=5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版破碎	アスファルト舗装版, 無し, 不要, 10cm以下, 有り	m2	1				
	合計							
	単価						円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	As殻運搬処理		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬	舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 有り, 6.0km以下	m3	1				
	処分費(m3)	無	m3	1			単 28号	
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	Co殻運搬処理	無筋	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,5.0km以下	m3	1				
処分費(m3)		無	m3	1			単 29号	
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	盛土材運搬		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模,バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,2.5km以下	m3	1				
積込(ルース)		土砂,小規模(標準以外)	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	表層	再生密粒度As(20F) t=5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		45mm以上55mm未満, 1.4m未満, 各種(2.30以上2.40t/m3未満), フライムコート PK-3	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	路盤工	再生クラッシュラン(RC-40) t=25cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(歩道部)		225mmを超え275mm以下, 再生クラッシュラン RC-40	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	不陸整正		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正工		1.8m未満,有,再生クラッシュラン RC-40,0.02m	m2	1			単 30号	
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	コンクリート打設	18-8-25	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物,打設地上高さ2m以下,各種,一般養生,無し	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2017.08
歩掛適用年月	2017.08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	交通誘導警備員		単位	人	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B	昼間勤務(交替要員無し)						単 31号
			人日					
	合計							
	単価							円/人

－ 特記仕様書 －

施工条件明示書

工事番号	七防第17-290号	工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事		事務所名	宮城県七ヶ浜町		
項目	条件	内 容	施 工 方 法	備 考				
1 共通仕様書の適用								
本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。								
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	<input type="radio"/> あり	平成 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)						
	<input checked="" type="radio"/> ない	<input type="radio"/> あり	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から〇〇日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。					
		<input checked="" type="radio"/> ない	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)					
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。 http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/kk50.htm								
3 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
(2) 施工時期による制限	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> ない	施設の担当者と施工時期を打合せすること。					
(3) 関係機関等との協議の未成立	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
4 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
5 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> ない	必要な箇所には交通誘導員を配置し、工事区域には安全対策をすること。					
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
6 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない						
7 建設副産物対策関係								
(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。							
			処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間		
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること								
(2) 建設発生土 (建設汚泥)	処理・処分	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない		km	時 分 ~ 分		
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> ない	コンクリート塊	㈱NIPPO 多賀城合材工場	中間処分・再資源化施設	5.0km以下	9時0分 ~ 16時30分
				アスファルト塊	㈱NIPPO 多賀城合材工場	中間処分・再資源化施設	6.0km以下	9時0分 ~ 16時30分
				建設発生木材			km	時 分 ~ 分
				建設汚泥			km	時 分 ~ 分
				その他			km	時 分 ~ 分
(4) 再生材の利用	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> ない	種類・数量	再生砕石、再生密粒度As				
8 工事現場のイメージアップ								
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	内容 イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。					
9 品質証明								
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認 チェックリストの対象	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
10 標準的な設計図書による発注方式								
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。					
11 資材関係								
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。							
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。							
(3) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。 「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は環境政策課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。						
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材					
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	3. その他 ()					
	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	4. その他 ()					
(4) 現場吹付法特工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm ² 以上とする。							
12 その他								
(1) 舗装の下請制限について	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。					
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。					
(3) 三者会議の対象の有無	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。					
(4) 貸与資料の有無	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()					
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。					
(6) 工事写真の電子化の対象の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報標準案)に基づき電子とする。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。					
(7) 工事実績情報システム(コリンズ)登録	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。							
(8) 工事書類の簡素化の試行について	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> ない	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ簿、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業届の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。					

東日本大震災に伴う特例制度

項目	条件	内容	施行方法	備考
13 積算基準及び設計単価の適用期日				
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	●ある ○ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。		
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	○ある ●ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の設計単価とする。		
14 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある ●ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 0.00% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 0.00%</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めによる増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある ●ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある ●ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等)</p> <p>2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」)</p> <p>3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由</p> <p>4 製造・生産工場を選定した理由</p> <p>5 見積もり書</p> <p>6 その他、必要と思われる事項</p>	
16 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある ●ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○、○○)地区(施工箇所○○) (以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
17 その他				
(1) 機械損料の補正について	●ある ○ない	本工事で使用するブルドーザ(リッパ装置付きブルドーザを除く)、バックホウ、ダンプトラック(建設専用ダンプトラックを除く)については運転1時間(日)当たりの損料に105/100を乗じている。		
(2) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱	○ある ●ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(3) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある ○ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.5 現場管理費:1.2</p>		

特記事項

1 追加事項1			
(1) 追加	現場代理人の兼務について	条件を満たす場合は、現場代理人の兼務を認める。	
(2) 追加	設置場所について	設置場所は、現場状況により変更の可能性があるため、監督員と協議すること。	
(3) 追加	標識図案について	図案については、詳細を監督員と打合せすること。	
(4) 追加	交通誘導警備員について	配置は学校、児童遊園、施設等、利用者の支障となる箇所(41箇所を対象としています)が、変更の場合は監督員と協議すること。	
(5) 追加	標識基礎について	標識の設置位置によって、Co基礎を再利用する可能性があるため施工前に監督員と打合せすること。	
2 追加事項2			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
8 追加事項8			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
9 追加事項9			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

平成29年度七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事 仕様書

1. 事業名

平成29年度七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事

2. 事業の趣旨

当事業は、町地域防災計画で指定している避難所及び避難場所を的確に住民や来訪者等に対し掲示することを目的とした標識を設置するもの。
また、沿岸部で従事している者や来訪者等に注意喚起を促す津波注意警告標識を設置するもの。
併せて、既設標識の撤去も行うもの。

3. 事業概要

- [避難所標識] 避難所となる施設敷地内に標識を設置するもの。
- [避難場所標識] 避難場所となる施設敷地内に標識を設置するもの。
- [津波注意警告標識] 沿岸部に標識を設置するもの。
- [既設標識] 既設標識を撤去するもの。

4. 製作設置するもの

- [避難所標識] 避難所に避難所標識
- [避難場所標識] 避難場所に避難場所標識
- [津波注意警告標識] 沿岸部に津波注意警告標識

5. 規格、数量等

「別紙1-1」、「別紙1-2」、「別紙1-3」のとおり

6. 標識の設置先

各標識は本町が指定する箇所へ設置する。
「別紙2-1」、「別紙2-2」、「別紙2-3」のとおり

7. 既設標識の撤去

「別紙 既設標識撤去一覧」のとおり

避難誘導標識規格一覧

●避難所・避難場所併記表示標識

1 形式

避難所・避難場所併記表示標識(複柱タイプ) 900×1200
支柱 φ60.5×2.3 L2800

2 基板

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)
JIS H4000 A5052P
JIS H4100 A6063S

3 スライドチャンネル

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)
JIS H4000 A5052P
JIS H4100 A6063S

4 シート

カプセルプリズム型反射シート+デジタルプリント
(道路標識設置基準に準ずる仕様)
+UV吸収型表面保護フィルム貼り(高耐候フッ素樹脂)

5 取付金具

JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)SS400 亜鉛メッキ処理

6 支柱

JIS G 3444(一般構造用炭素鋼鋼管) STK400
亜鉛メッキ鋼管
φ60.5×t2.3
塗装 熱硬化性ポリエステル系樹脂を静電粉体塗装法により塗装
(チャイロ55)
支柱キャップ ポリエチレン樹脂

別紙1-2

避難誘導標識規格一覧

●避難場所表示標識

1 形式

避難場所表示標識(単柱タイプ) 1200×500

支柱 φ76.3×3.2 L4000

2 基板

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)

JIS H4000 A5052P

JIS H4100 A6063S

3 スライドチャンネル

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)

JIS H4000 A5052P

JIS H4100 A6063S

4 シート

カプセルプリズム型反射シート+デジタルプリント

(道路標識設置基準に準ずる仕様)

+UV吸収型表面保護フィルム貼り(高耐候フッ素樹脂)

5 取付金具

JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)SS400 亜鉛メッキ処理

6 支柱

JIS G 3444(一般構造用炭素鋼鋼管) STK400

亜鉛メッキ鋼管

φ76.3×t3.2

塗装 熱硬化性ポリエステル系樹脂を静電粉体塗装法により塗装

(チャイロ55)

支柱キャップ ポリエチレン樹脂

避難誘導標識規格一覧

●津波注意警告表示標識

1 形式

津波注意警告表示標識(単柱タイプ) △800 700×350
支柱 φ76.3×3.2 L3800

2 基板

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)
JIS H4000 A5052P
JIS H4100 A6063S

3 スライドチャンネル

耐食アルミニウム合金(道路標識設置基準に準ずる仕様)
JIS H4000 A5052P
JIS H4100 A6063S

4 シート

カプセルプリズム型反射シート+デジタルプリント
(道路標識設置基準に準ずる仕様)
+UV吸収型表面保護フィルム貼り(高耐候フッ素樹脂)

5 取付金具

JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)SS400 亜鉛メッキ処理

6 支柱

JIS G 3444(一般構造用炭素鋼鋼管) STK400
亜鉛メッキ鋼管
φ76.3×t3.2
塗装 熱硬化性ポリエステル系樹脂を静電粉体塗装法により塗装
(チャイロ55)
支柱キャップ ポリエチレン樹脂

別紙2-1

避難誘導標識設置箇所一覧

避難所・避難場所併記表示標識設置箇所(16箇所)

[拠点避難所、指定避難所]

No.	施設名	対象となる災害名						種別	基礎部分	海拔(m)
		津	○	火	○	が	○			
1	松ヶ浜小学校	津	○	火	○	が	○	新設	土	17.0
2	七ヶ浜中学校	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	46.2
3	生涯学習センター	津	○	火	○	が	○	新設	土	22.7
4	湊浜地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	土	13.6
5	松ヶ浜地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	土	16.0
6	菖蒲田浜地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	土	9.8
7	花湊浜地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	10.0
8	吉田浜地区公民分館	津	○	火	○	が	○	新設	土	38.3
9	代ヶ崎浜地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	土	24.6
10	東宮浜地区交流センター	津	×	火	○	が	○	新設	土	1.9
11	要害御林地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	土	3.7
12	境山地区公民分館	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	21.5
13	遠山地区避難所	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	19.3
14	汐見台第1分館	津	○	火	○	が	○	新設	土	10.5
15	汐見台第2分館	津	×	火	○	が	○	新設	土	5.9
16	汐見台南第1集会所	津	×	火	○	が	○	新設	アスファルト	5.7

※整備数 16箇所

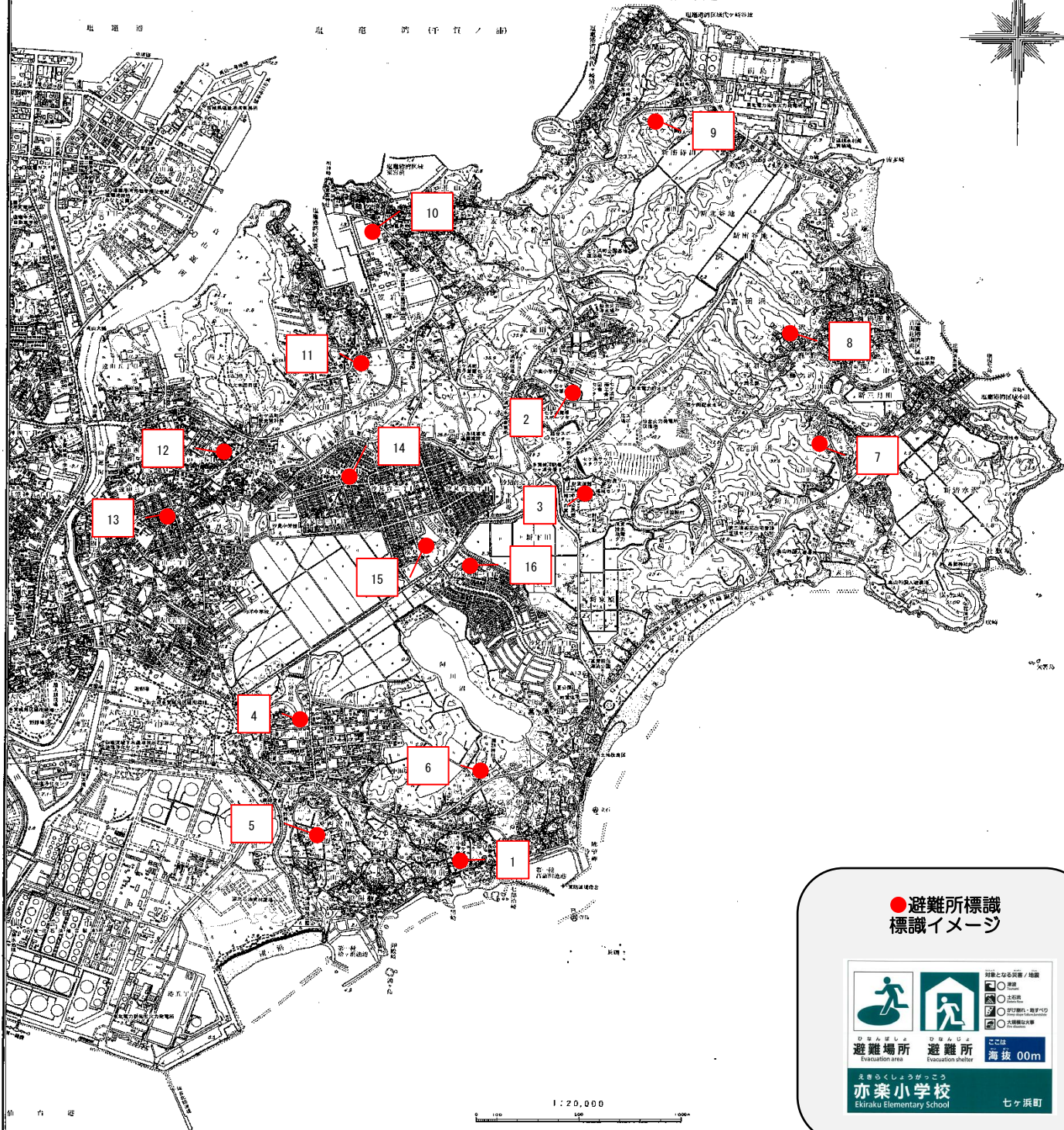
出典:国土地理院

●種別 [新設]16箇所

●基礎部分 [土]11箇所 [アスファルト]5箇所

平成 29 年度七ヶ浜町避難誘導標識等整備事業 [避難所標識整備箇所]

整備内容	箇所数
● 避難所標識	16箇所



● 避難所標識
標識イメージ

避難場所
Evacuation area

避難所
Evacuation shelter

避難となる災害 / 種類
 地震
 津波
 河川氾濫 / 池沼干渉
 大規模な火事
 大規模な水害

ここは
海拔 00m

えきらくしょうがっこう
 Ekiraku Elementary School
 七ヶ浜町

避難誘導標識設置箇所一覧

避難場所表示標識設置箇所(32箇所)

[指定避難場所]

No.	施設名	対象となる災害名						種別	基礎部分	海拔(m)
1	東宮神社境内	津	○	火	○	が	×	新設	土	11.3
2	東宮浜児童遊園	津	×	火	○	が	○	新設	土	1.9
3	鳳寿寺境内	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	7.6
4	要害児童遊園	津	×	火	○	が	○	新設	土	1.2
5	御林児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	13.0
6	子育て支援センター	津	○	火	○	が	○	新設	土	29.1
7	汐見台四丁目児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	16.2
8	汐見台二丁目中央公園	津	○	火	○	が	○	新設	土	10.5
9	境山児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	10.5
10	遠山境山児童公園	津	○	火	○	が	○	新設	土	15.8
11	舞鶴児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	9.1
12	北遠山児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	6.7
13	第1ネオポリス児童公園	津	×	火	○	が	○	新設	土	3.2
14	遠山保育所	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	9.7
15	湊浜児童公園	津	○	火	○	が	○	新設	土	15.6
16	謡児童遊園	津	○	火	○	が	○	新設	土	13.7
17	ソニー(株)仙台七ヶ浜寮	津	○	火	○	が	○	新設	土	16.0
18	養松院境内	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	12.5
19	長養寺境内	津	×	火	○	が	○	新設	アスファルト	8.9
20	諏訪神社境内	津	○	火	○	が	○	新設	土	13.6
21	五社神社境内	津	×	火	○	が	○	新設	土	11.1
22	花湊浜児童遊園	津	×	火	○	が	○	新設	土	1.7
23	同性寺境内	津	×	火	○	が	○	新設	アスファルト	2.2
24	君ヶ岡公園	津	○	火	○	が	○	新設	土	48.4
25	金剛寺境内	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	7.8
26	吉田神社境内	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	30.4
27	葦航寺境内	津	○	火	○	が	○	新設	アスファルト	16.6
28	多聞山毘沙門天神社	津	○	火	○	が	○	新設	土	37.3
29	多聞山駐車場	津	○	火	○	が	○	新設	土	43.5
30	サッカースタジアム	津	○	火	○	が	○	新設	土	26.2
31	春公園	津	×	火	○	が	○	新設	土	5.7
32	夏公園	津	○	火	○	が	○	新設	土	18.2

※整備数 32箇所

出典:国土地理院

●種別 [新設]32箇所

●基礎部分 [土]24箇所 [アスファルト]8箇所

別紙2-3

避難誘導標識設置箇所一覧

津波注意警告表示標識設置箇所(13箇所)

[沿岸部]

No.	施設名	種別	基礎部分	海拔(m)
1	松ヶ浜漁港内	新設	アスファルト	0.5
2	菖蒲田浜漁港内	新設	アスファルト	1.6
3	菖蒲田浜海浜公園内	新設	アスファルト	1.9
4	花渚浜長須賀地内	新設	アスファルト	1.4
5	花渚浜小豆浜地内	新設	アスファルト	1.7
6	花渚浜表浜地内	新設	アスファルト	1.0
7	花渚小浜港内	新設	アスファルト	1.0
8	吉田花渚港内	新設	アスファルト	2.3
9	代ヶ崎港内	新設	アスファルト	1.8
10	代ヶ崎清水港内	新設	アスファルト	0.7
11	東宮港内(小友)	新設	アスファルト	1.2
12	東宮港内(鶴ヶ湊)	新設	アスファルト	0.5
13	要害港内	新設	アスファルト	0.7

※整備数 13箇所

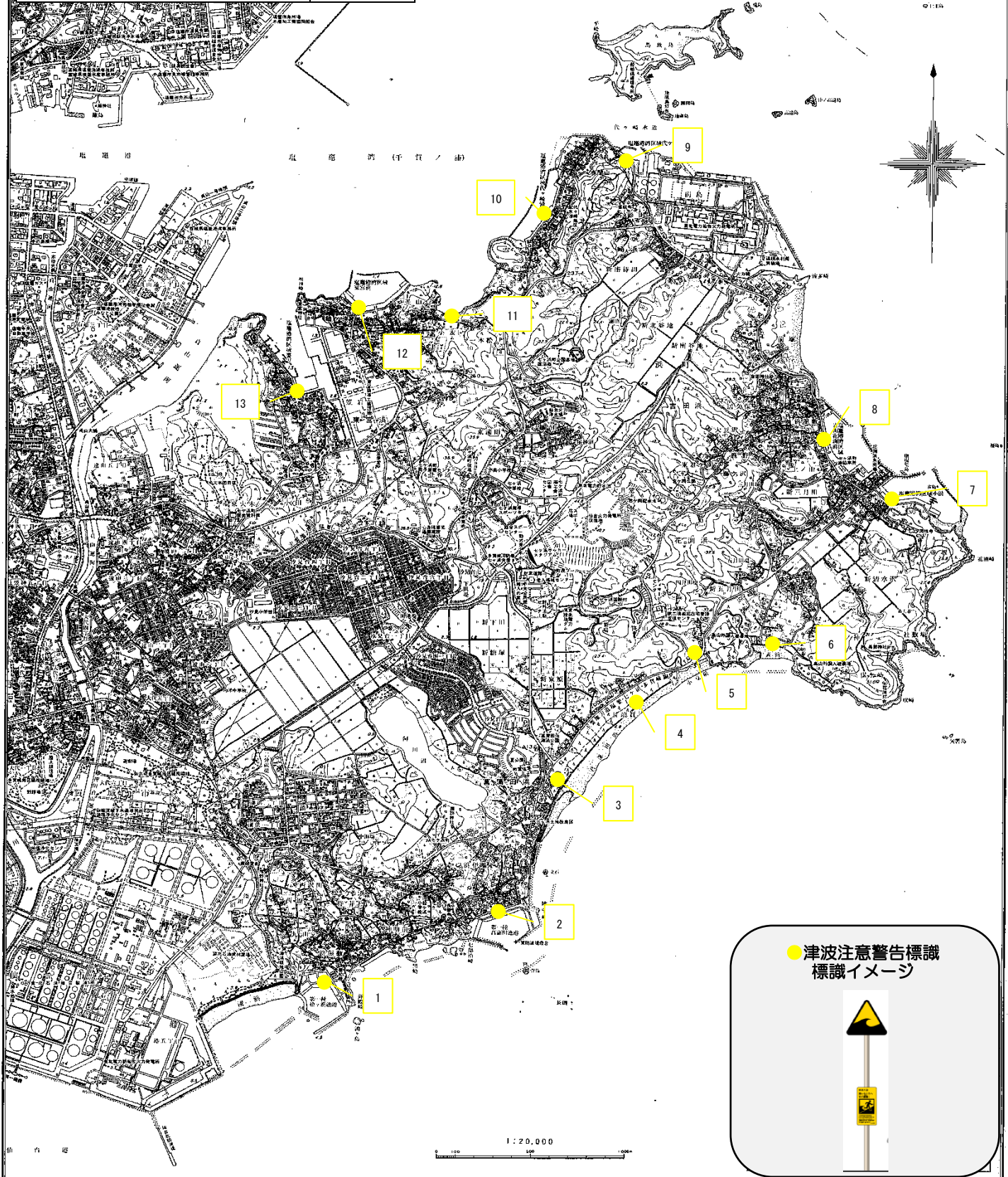
出典:国土地理院

●種別 [新設]13箇所

●基礎部分 [アスファルト]13箇所

平成 29 年度七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事 [津波注意警告標識設置箇所]

整備内容	箇所数
● 津波注意警告標識	13箇所



別紙

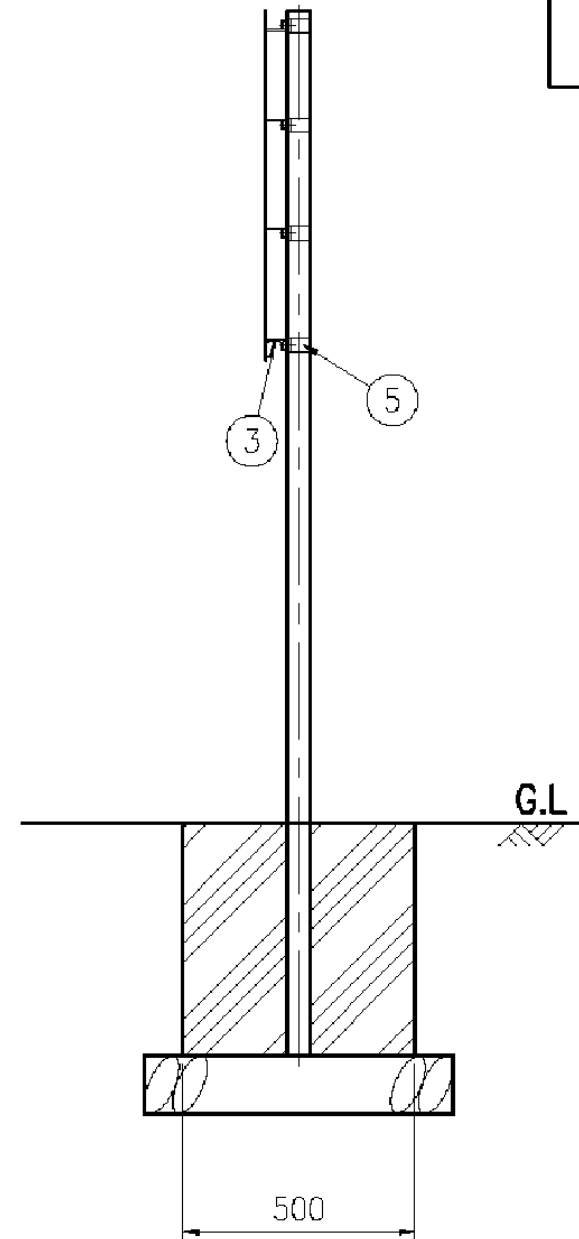
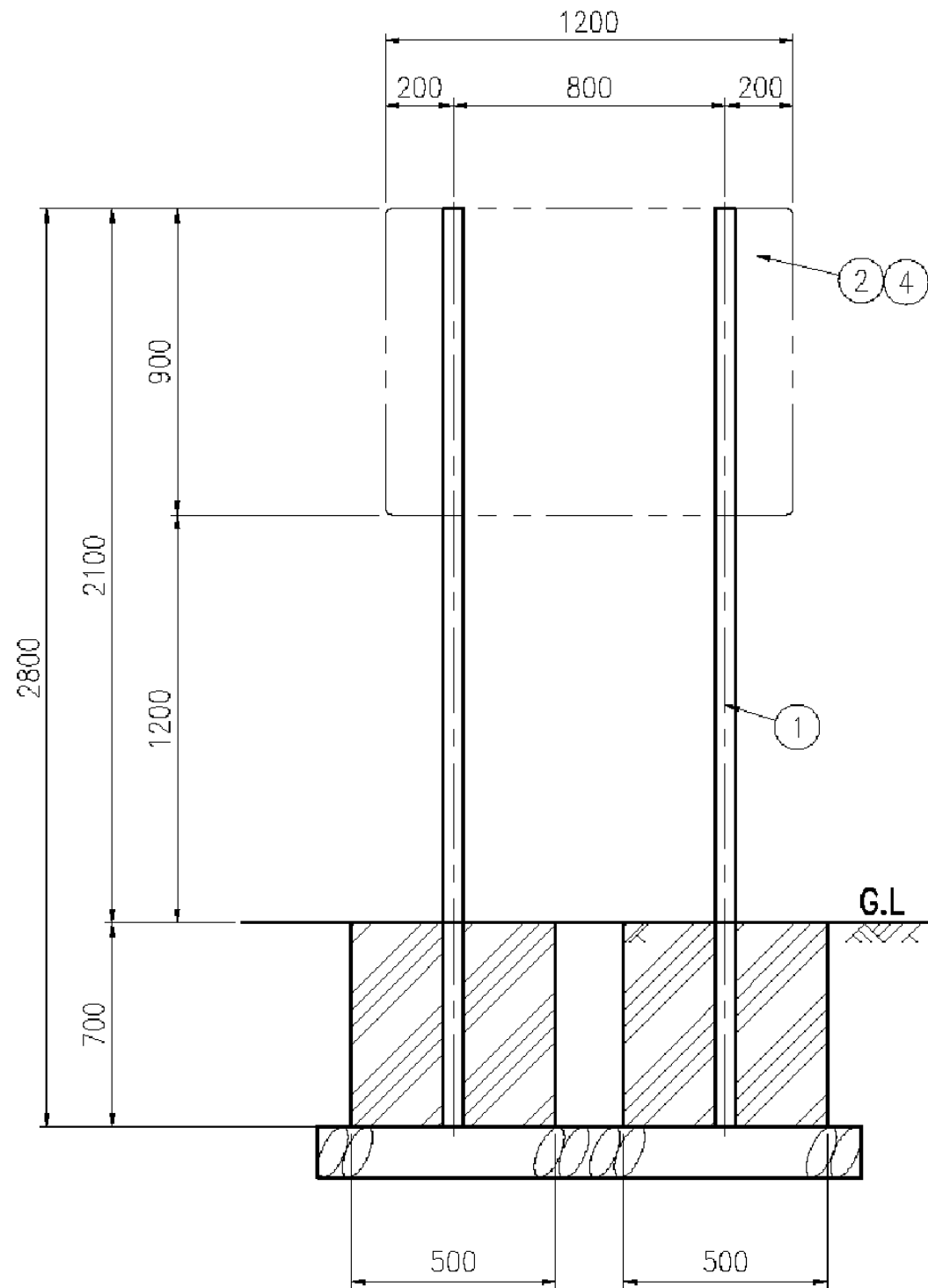
既設標識撤去箇所一覧

撤去箇所(31箇所)

No.	標識設置箇所	標識種別
1	湊浜児童公園	複柱
2	謡児童遊園	複柱
3	ソニー(株)七ヶ浜寮	複柱
4	養松院境内	単柱・壁面
5	松ヶ浜小学校	複柱
6	五社神社境内	複柱
7	君ヶ岡公園	複柱
8	吉田神社境内	複柱
9	葦航寺境内	複柱
10	多聞山毘沙門神社境内	複柱
11	代ヶ崎浜八ヶ森清水台地	複柱
12	東宮神社境内	単柱・複柱
13	東宮浜地区公民分館	複柱
14	東宮浜児童遊園	複柱
15	要害児童遊園	複柱
16	御林児童遊園	複柱
17	遠山保育所	複柱
18	第一ネオポリス児童公園	複柱
19	北遠山児童遊園	複柱
20	遠山境山児童公園	複柱
21	遠山境山地区コミュニティセンター	複柱
22	境山児童遊園	複柱
23	舞鶴児童遊園	複柱
24	汐見保育所(子育て支援センター)	複柱
25	サッカースタジアム	複柱
26	汐見台四丁目児童遊園	複柱
27	汐見台二丁目中央公園	複柱
28	汐見台地区避難所(汐見台第2分館)	複柱
29	汐見台南1号公園(春公園)	複柱
30	夏公園	単柱
31	金剛寺境内	単柱



工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	避難所・避難場所併記表示標識図
縮尺	1/6
図面番号	1/6
宮城県七ヶ浜町	



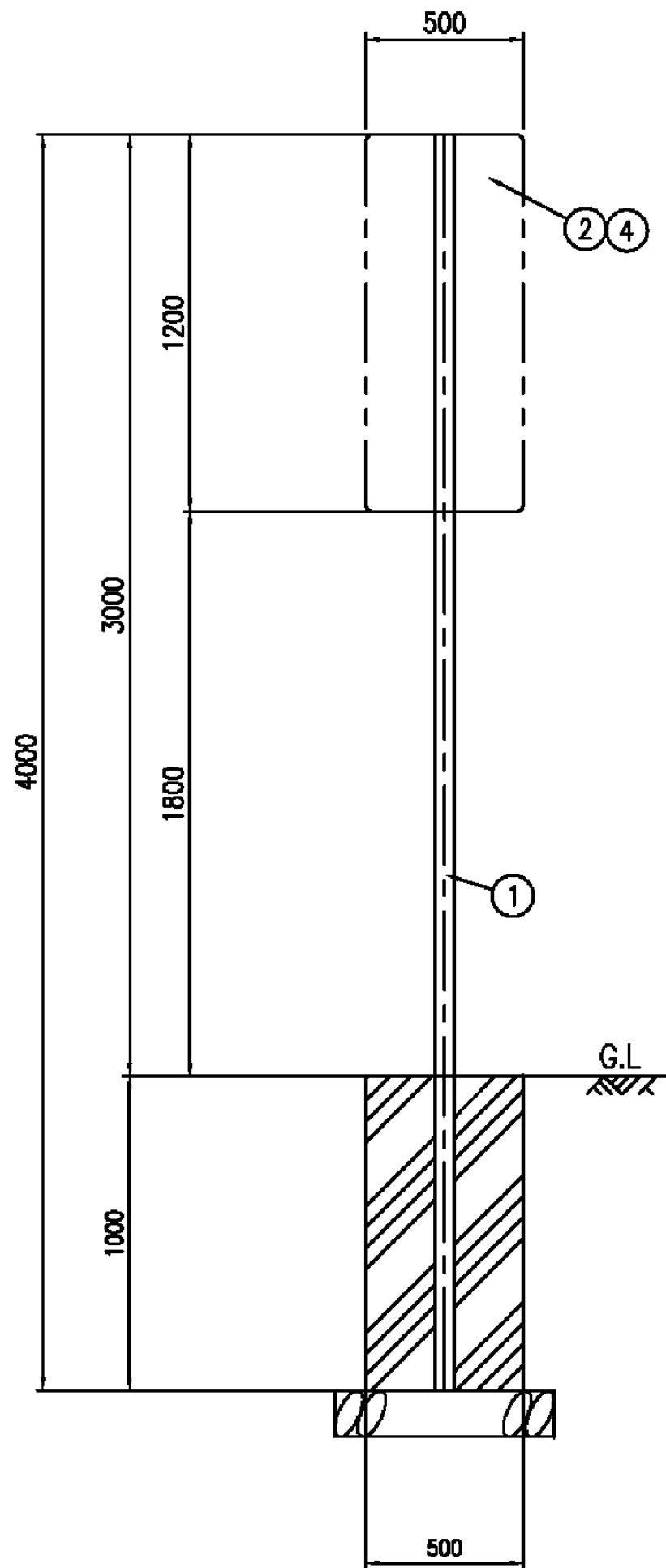
品番	品名	数量	材質	備考
1	支柱	2	STK400 φ60.5×2.3 亜鉛めっき+静电粉末塗装	チャイロ55色
2	基板	1	アルミニウム合金材 t2.0 JIS H4000 A5052P	道路標識設置基準に 準ずる仕様
3	スライドチャンネル	4	アルミニウム押出型材 JIS H4100 A6063S	
4	反射材	1	カプセルプリズム型 (スリーエムジャパン社製)	デジタルプリント+フッ素樹脂表面保護フィルム貼り (スリーエムジャパン社製)
	グラフィック表示	1	デジタルプリント+フッ素樹脂表面保護フィルム貼り (スリーエムジャパン社製)	
5	板取付金具	8	Uバンド t2.3	溶融亜鉛めっき
	ボルト・ナット	16	W3/8×32	溶融亜鉛めっき

S=1/20

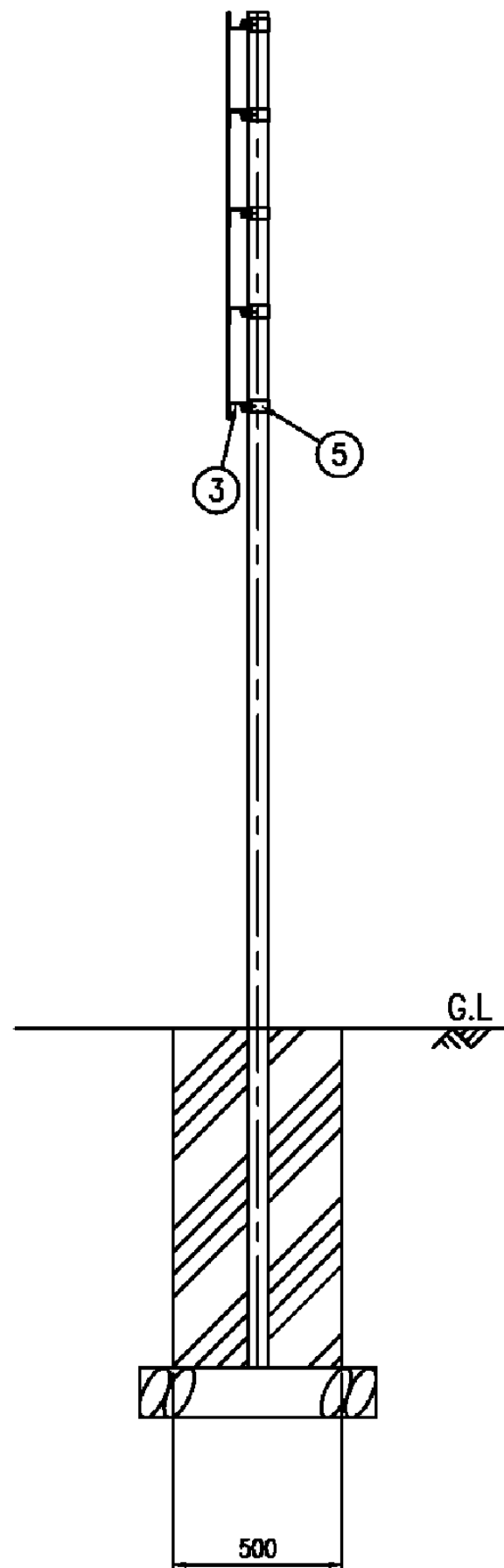
工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	避難所・避難場所併記表示標識構造図
縮尺	図示
図面番号	2/6
宮城県七ヶ浜町	



工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	避難場所表示標識図
縮尺	1/8
図面番号	3/6
宮城県七ヶ浜町	

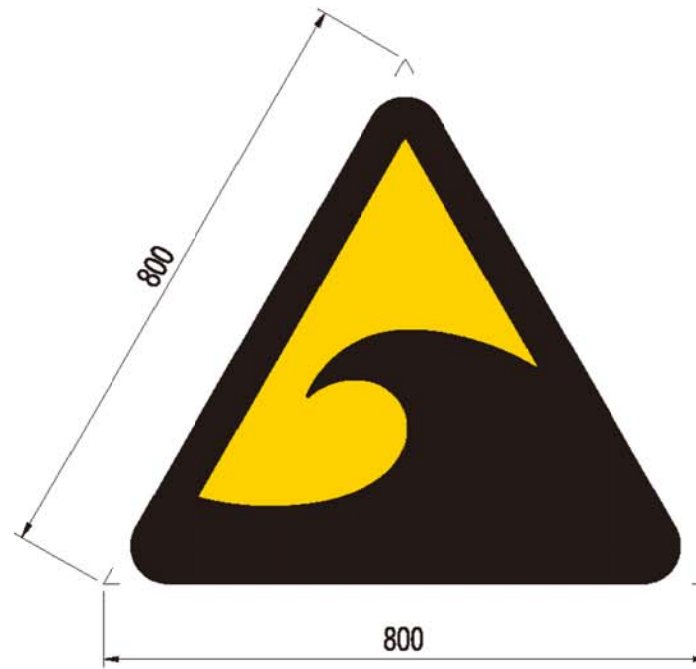


S=1/20

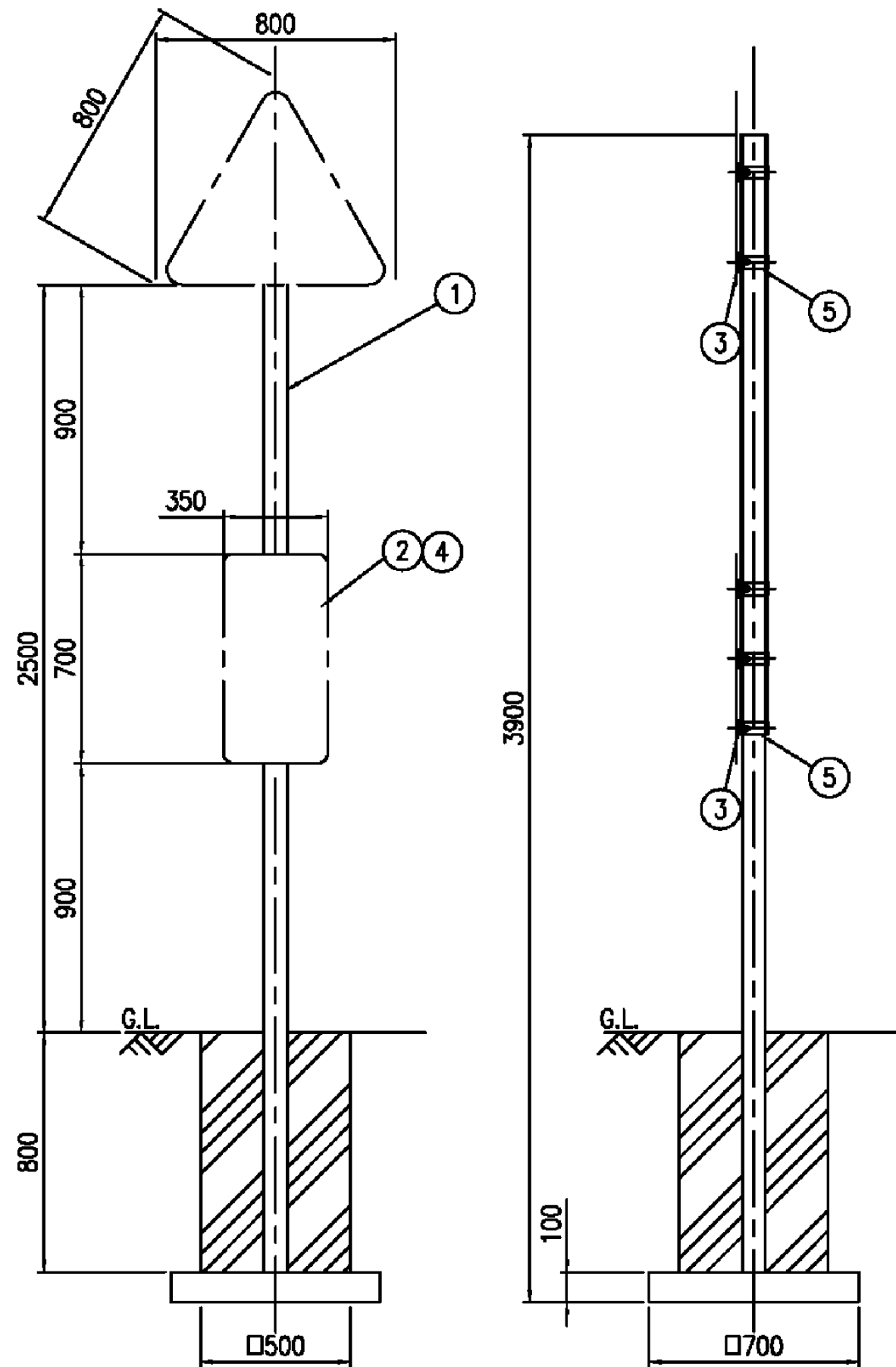


品番	品名	数量	材質	備考
1	支柱	1	STK400 ϕ 76.3×3.2 亜鉛めっき+静电粉体塗装	チャイロ55色
2	基板	1	アルミニウム合金材 t2.0 JIS H4000 A5052P	道路標識設置基準に 準ずる仕様
3	スライドチャンネル	5	アルミニウム押出型材 JIS H4100 A6063S	
4	反射材	1	カプセルプリズム型 (スリーエムジャパン社製)	
	グラフィック表示	1	デジタルプリント+フッ素樹脂表面保護フィルム貼り (スリーエムジャパン社製)	
5	板取付金具	5	Uバンド t2.3	溶融亜鉛めっき
	ボルト・ナット	10	W3/8×32	溶融亜鉛めっき

工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	避難場所表示標識構造図
縮尺	図示
図面番号	4/6
宮城県七ヶ浜町	



工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	津波注意警告表示標識図
縮尺	1/10
図面番号	5/6
宮城県七ヶ浜町	



品番	品名	数量	材質	備考
1	支柱	1	STK400 ϕ 76.3 \times 3.2 亜鉛めっき+静電粉体塗装	チャイロ55色
2	基板	1	アルミニウム合金材 t2.0 JIS H4000 A5052P	道路標識設置基準に 準ずる仕様
3	スライドチャンネル	5	アルミニウム押出型材 JIS H4100 A6063S	
4	反射材	1	カプセルプリズム型 (スリーエムジャパン社製)	デジタルプリント+フッ素樹脂表面保護フィルム貼り (スリーエムジャパン社製)
	グラフィック表示	1	デジタルプリント+フッ素樹脂表面保護フィルム貼り (スリーエムジャパン社製)	
5	板取付金具	5	Uバンド t2.3	溶融亜鉛めっき
	ボルト・ナット	10	W3/8 \times 32	溶融亜鉛めっき

工事番号	七防第17-290号
工事名	平成29年度 七ヶ浜町避難誘導標識等整備工事
図面名	津波注意警告表示標識構造図
縮尺	図示
図面番号	6/6
宮城県七ヶ浜町	